

# 東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1134号  
2009年9月6日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

◇9月の代祷・信施奉献先  
▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽タイのHIV感染者及びAIDS発症者支援のため  
▽心臓病児保育活動のため

## ◇堅信受領

7月26日 立教学院諸聖徒礼拝堂  
▽梅野伸也▽鴨下ゆみ子(立教諸聖徒)▽河辺鉦一(神田)

## ◆とこしえの平安

7月13日 稲田 明子(86)  
7月23日 柳川 信平(81) 聖テモテ 神田  
7月28日 椎熊みどり(91) 池田 香(90)  
7月31日 梶原 千春(80) 聖マーガレット

## 今週・来週の予定

9月6日~19日

- 6(日) 聖霊降臨後第14主日 主教巡回 聖愛教会
- 8(火) 銀座朝祷会 財政委員会
- 9(水) 人権 日の丸・君が代 エルサレム協働委員会
- 10(木) 月島準備室 聖職養成委員会
- 11(金) 人権委員会 (聖バルナバ) 広報委員会 IT特別委員会
- 13(日) 聖霊降臨後第15主日 主教巡回 葛飾茨十字教会 正義と平和運営委員会
- 14(月) 正義と平和委員会
- 15(火) 小平墓地委員会
- 16(水) 教役者レクイエム 信仰と生活委員会 常置委員会
- 17(木) 環状G牧師協議会 (立教)

7月31日 大越 聖アンデレ 正秋(96) 三光  
▽9月銀座朝祷会 8日・22日(第2・第4火曜) 7時半、ルノール喫茶室ニュー銀座。照会 042(796)1498・同会世話人。  
▽9月西新の会 8日(第2火曜) 19時半 聖餐式(高橋頭 30分程度、入場無料)  
▽9月ランチタイム・オルガンコンサート \*聖パウロ 11日(金) 12時20分、八代紀子 \*聖テモテ 15日(火) 12時30分、小野田良子 \*神田キリスト 16日(水) 12時20分、久保田陽子 各々

司祭、井草地域区民センター(22日は休会。照会 03(3951) 5010・目白聖公会。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

「神の業がこの人に現れるため」(ヨハネ9・3c)というイエスの言葉を、わたしは勿論軽々しく言えません。しかし、ある方の場合、退職したばかりで、エネルギーがシユに教会のご奉仕をされてきました。とても能力のある方なので、周りの人たちはやりすぎかなと思っただけでも口をはさむことができませんでした。数年後、その方が病を得られて、しばらく療養された後、教会に戻られてからは、周りの方々への配慮が感じられるようになりました。その方の妻は、夫は人が変わってすっかり丸くなりましたとニコニコ話されました。ある女性は、若い頃、夫が年を取ったから仇をきつと討たなくてはと思いつけて

《み手のなかで》

## 老いと病が...

司祭 井口 諭

いたそうです。しかし、夫が年を取り、体が不自由になり、まして病を得てから夫は人が変わったようになってしまいました。それで、仇を討つどころか、今では、子どもたちや孫たちに、じいちゃんを大切にしないとわたしが承知しないからねと言うようになってしまったと、とてもうれしそうな顔で言われました。

老いや病など、わたしたちはあつてほしくない。これらはマイナスであつて、決してプラスになるはずがないと思ひ込んでいます。わたしもそれに賛成ですが、しかし、老いや病の人からのいろいろなお話を聴くと、決してマイナスの面だけではないよな気がします。老いと病が、「み手のなかで」神の業に変えられるのも良いかなと思つてしまつてもあります。

(神田キリスト教会牧師)

常置委員会報告(8月21日)

\*宣教150周年記念礼拝準備  
および参加予想等の主教報告。

\*韓国ソウル教区より9月、2  
司祭の派遣受入れを了承。

\*教区会館耐震診断の二次実施  
依頼の発注報告を了承。

\*月島聖公会・月島聖ルカ保育  
園将来計画準備室と聖教主福祉  
会との話し合いが、計画趣意の点  
で折り合いがかなわなかったこ  
とから、別途、新法人設立準備会  
立ち上げを了承。  
\*その他。

▽教区礼拝音楽委員会「南米  
の教会音楽の愉しみ〜アルゼン  
チンからパブロ・ソーサ氏を迎  
えて」 同氏による話と歌Ⅱ讚  
美歌集「おおなんとという恵み

よ！」を用いて、通訳付き。9  
月15日(火)18時半〜21時、聖  
アンデレ教会。参加費千五百円  
(歌集込み、当日会場)。日本  
讚美歌学会その他の後援。照会  
☎042(493)7472(礼  
拝音楽委員会・宮崎)。

▽いのちの電話チャリティ  
映画会「ヤング@ハート」18  
日(金)14時・19時、銀座ブ  
ロツサムホール(中央会館)。  
米国マサチューセツ州の小  
さな町で誕生した、やんちゃ  
な年金生活者たちのコーラス  
グループの笑いと感動の真実  
の物語。千円(昼夜共通、全自  
由席、当日券有り)。申込方法  
等照会☎03(3263)57  
94。いのちの電話後援会主  
催。

《今、この教会では…》

千住基督教会

教会の玄関を入ると大きな鉢  
植えの朝顔が大輪の見事な花を  
付けている。牧師館にお住まい  
のK司祭の丹精が忍ばれ「先生  
見事ですすね」と言うのと、「葉ばか  
り大きくなって、と思っていた  
ら咲いたんですよ」と少し得意  
そうにおっしゃる。お説教は従  
来はほとんど福音書を中心にさ  
れて参りましたが、今年は数カ  
月前より旧約聖書を主題にされ  
ており、古い先短い身には福音  
書の源であり、信仰の基本を指  
し示している旧約を学び直すこ  
とは本当に有難く、これを自分  
の反省の良き機会ととらえ感謝  
しております。旧約に関心のあ  
る方歓迎します。(小砂道子)

## 【クローズアップ】23

### 広島平和礼拝

今から64年前の8月6日に広  
島に一発の原子爆弾が投下され  
ました。多くの被爆者の方々が  
高齢化していく中で、今年の神  
戸教区主催の平和礼拝は、同教  
区の中高校生キャンプを絡めて他  
教区の中高校生にも呼びかけると  
の趣旨で開催されました。

プログラムは前日5日の朝か  
ら始まります。広島復活教会の  
信徒の方々の案内で、7万体の  
身元の分からない遺骨が眠る  
供養塔から出発する碑めぐりと  
平和資料館の見学、昼食後に被  
爆体験をうかがい、小グループ  
での分ち合いの時を持ちまし  
た。被爆体験を語る中で痛みと

共に言葉に出された、「あまりの  
悲惨さからか、気がつくど私は  
声を上げて笑っていました」が  
とても印象に残っています。被  
爆した人々の共通の懸念はこの  
凄惨な経験が、時と共に風化し  
て忘れられて行くのではないか  
ということです。風化させない  
ためにも繰り返し現場に足を運  
び、碑を巡りながら事実を語り  
継ぐ事が大切になっていくのだ  
と思います。

再び供養塔に戻りカトリック  
教会と合同の祈りの集いから、  
供養塔を出発してカトリック広  
島教区世界平和大聖堂までの道  
のりを歌いながらの平和行進。  
バチカンからの枢機卿も臨席し  
カトリックと聖公会合同の平和  
ミサがささげられました。6日

早朝は供養塔での諸宗教合同の  
慰霊祭。最後に広島復活教会で  
記念聖餐式が、8時15分に合わ  
せて黙想の時間をはさみながら  
神戸教区中村豊主教の司式・説  
教でささげられました。

今年のは冷夏で過こしやすいと言  
われていましたが、それでもジリ  
ジリと夏の日差しが照りつけてい  
ました。このときに訪れた広島  
は、原爆の被害と放射能の熱、そ  
して暑さの中で水を求めて亡く  
なっていた方々について思い巡  
らす時と、なりました。

その後、九州教区と沖縄教区  
の青年たちが9日に到着するこ  
とを目指して、自転車で長崎へ  
と出発して行きました。

正義と平和協議会議長

司祭 須賀義和